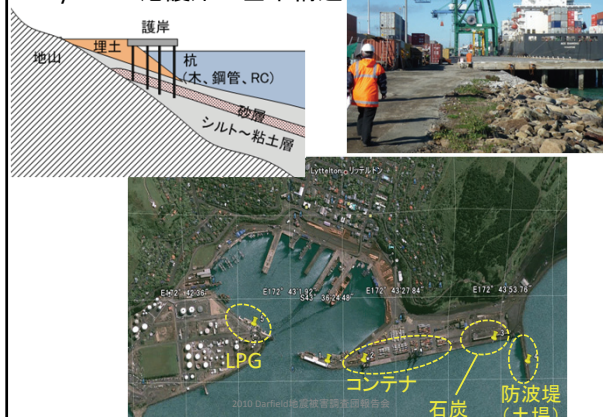


Lyttelton Port (リテルトン港)の被害

- ・NZ第2の港（コンテナ, LPG, 石炭の積出し）
- ・1950年代から60年代にかけて建設された。
- ・3つのシナリオ地震に対して耐震点検
 - Local earthquake (M 6) R.P. 200 年
 - Foothills' earthquake (M 7.2) R.P. 2000年
 - Alpine Fault earthquake (M 8) R.P. 400年
- ・被害が限定的であることが予測されていた
- ・計測された今回の地震の最大加速度は350galシナリオとほぼ同じ
- ・今回の主な被害も盛土部の沈下で、若干の補修で共用を継続できた

2010 Darfield地震被害調査団報告会

Lyttelton港護岸の基本構造



コンテナ護岸の被害状況

杭頭部に軽微なクラック。
写真は検査用にはつられた杭頭部。



背面の埋土が沈下し10cm程度の段差。
クレーンは杭式の護岸設置されており、
支障なく使用されている。
車両通行部は簡単なオーバーレイで
応急復旧

2010 Darfield地震被害調査団報告会

石炭積み出し護岸

- ・護岸の基礎は木杭
- ・変状は見られない
- ・背面の埋土部が沈下
- ・特に支障なく共用されている



2010 Darfield地震被害調査団報告会

防波堤



- ・盛土高さは海底から約12m
- ・天端沈下量は20～50cm程度

LPG護岸



- ・パイプラインの被害
- ・修復範囲内で、既に応急復旧済

2010 Darfield地震被害調査団報告会